民生費

▼国民健康保険特別会計へ四百六十万円を繰り出しました。

▼精神薄弱者福祉費は三千三百七十三万円でした。主なものは、施設入所委託料としての二千五百七十四万円、下越ミニコロニー用地代の百七十六万円などです。

▼老人福祉費では、早通地区老人憩の家建築補助金の三百七十万円、老人クラブ補助金の三百四十九万円などがあげられます。

▼児童福祉費の主なものとしては、二葉保育園改築工事六千六百三十五万円、めぐみ保育園増築工事八百七十四万円、豊栄マリア保育園園舎補修工事費補助金二百三十七万円などの保育所整備事業がありました。このほか、市社会福祉協議会児童館建設工事費補助金は一千二百三十四万円でした。

▼生活保護費の中で、扶助費は二億四千七百十五万円でした。

▼母子衛生費では、扶助費の母子栄養強化費および妊産婦、乳児医療費が一千七百六十一万円でした。また、水道費は一千三百七十一万円でした。主なものは東港地域水道用水供給金業団出資金一千百七十五万円です。

▼じん芥処理費は一億三千三百三十八万円でした。主なものは、ごみ収集委託料の三千五百六十五万円、埋立地整備工事費一千六百五十万円、豊栄郷清掃施設処理組合負担金七千八十九万円です。

▼し尿処理費は六千四百六十万円でした。

▼地域汚水処理費は三千九百八十八万円でした。

▼地域汚水処理施設建設費は三億八千五百三十一万円でした。これは豊栄団地汚水処理場建設工事に要した経費です。

衛生費

▼予防費は二千四百四十六万円でした。各種予防接種薬品代等や胃部、結核検診委託に要した経費です。

▼環境衛生費は三千八万円でした。無償配布薬剤費四百五十九万円、葬斎場のための阿賀北広域組合負担金九百二十九万円、葬斎場使用料負担金二百六十四万円などが主なものです。

農林水産業費

▼農業振興費は、二億二千五百六十五万円でした。主な内訳は、野菜指定産地近代化事業補助金の一千四百三十万円、水田再編近代化施設整備事業の補助金及び交付金等の一億七千四百六十二万円、手づくり村整備事業補助金の二百十八万円、それに大規模畑作団地推進特別事業補助金等の四百七十一万円です。

▼農地費は、一億六千二百七十五万円でした。団体営農道整備事業負担金七千九百七十二万円、県営付帯農道整備負担金等一千百二十万円、湛水防除事業負担金二千九百十二万円、特定国営農業排水事業等負担金二千六百二十二万円などが主なものです。

商工費

▼商工振興費は一億五千四百三十八万円でした。主なものとして、商工会への商工業振興事業補助金五百万円、信用保証協会保証料補給金百五十万円などがあげられます。このほか、地方産業育成資金等預託金は一億一千四百万円でした。

▼露店市場管理費は二百六十四万円でした。

土木費

▼道路維持費は六千四十四万円でした。除雪車借上料が一千五百四十五万円、除雪機械購入費一千六十八万円などです。

▼道路新設改良費は四億七百六万円でした。年度内の道路舗装延長は、一万九千八百九十八㍍に達しました。

▼橋梁新設改良費の工事請負費は五百二十三万円でした。

▼土地区画整理費は二千四百五十六万円でした。主なものは、本町区画整理事業調査委託料の四百二十万円、本町予想模型製作委託料の百八万円、川岸土地区画整理事業確定測量の六百二十二万円などです。

▼街路事業費の工事請負費は、一億五千九百六十四万円でした。葛塚南線舗装工事六百六十八万円、早通停車場北線道路改良工事一千百三十万円、葛塚環状線舗装工事費等三千六百万円、駅裏停車場線道路築造舗装工事六千四百六十五万円、豊栄水原線道路改良工事三千七百六万円などが主なものです。

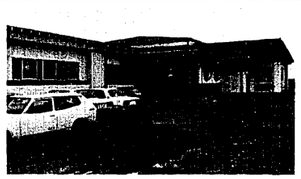
▼公有財産購入費は、豊栄水原線や駅裏停車場線の用地買収など一億二千六百十四万円でした。

▼都市下水路建設費の工事請負費は、一億四千九百三十二万円、町浦川下水路工事三千百十六万円、それに嘉山下水路工事九百七十万円が主なものです。

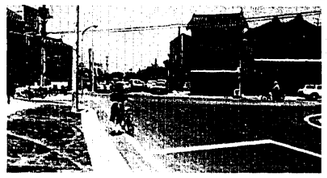
▼公園管理費は、南運動公園整備工事の四百九十万円など、総計で一千八百二十八万円でした。

▼公園建設費は三千八百三万円でした。見国山公園や下大口公園を整備した経費が主なものです。

▼住宅管理費では県営住宅の屋上防水工事や樹木支柱、植栽工事などの工事請負費が一千五百六万円でした。


◀立派な二葉保育園舎が出来上がり、七月一日に移転

◀総工費約七千五百万円をかけ、早通下水路が完成。（早通南にて）


◀道路整備や道路舗装が各地で行われる（下他門地内）

消防費

▼消防施設の工事請負費は一億一千二百五十一万円でした。木崎出張所建築工事七千一百四十四万円、消防署車庫、積載車車庫の建築工事一千九百四万円、真空式防火井戸設置二千五百万円、町浦川下水路ポンプ室ゲート築造工事一千三百六十五万円をはじめ、町浦川防潮上げ工事四百八万円、町浦川下水路ポンプ設置工事二千百万円、早通白新線脇水路整備工事等四百十四万円、早通下水路工事六千四百二十五万円、町浦川下水路工事三千百十六万円、それに嘉山下水路工事九百七十万円が主なものです。

▼公園管理費は、南運動公園整備工事の四百九十万円など、総計で一千八百二十八万円でした。

▼公園建設費は三千八百三万円でした。見国山公園や下大口公園を整備した経費が主なものです。

▼住宅管理費では県営住宅の屋上防水工事や樹木支柱、植栽工事などの工事請負費が一千五百六万円でした。

▼消防施設の工事請負費は一億一千二百五十一万円でした。主なものは次のとおりです。早通南小グランド整備工事三百十五万円、早通南小校庭土留工事五百七十万円、土土地亀小便所改修工事二百八十万円、葛塚小プレハブ校舎建築工事六百四十五万円、葛塚東小外柵工事五百三十八万円

▼小学校の学校建設工事請負費は、四億九千五百五万円でした。早通南小第二期工事工事四百二十二万円、防火水槽設置工事一千二百六十万円などが主なものです。

▼備品については、消防ホース、大型泡放水砲車、消防車など三千三百三十万円の購入費でした。

▼水防費は五百七十六万円でした。

教育費

▼小学校の学校管理費は一億九千百六十万円でした。主なものは次のとおりです。早通南小グランド整備工事三百十五万円、早通南小校庭土留工事五百七十万円、土土地亀小便所改修工事二百八十万円、葛塚小プレハブ校舎建築工事六百四十五万円、葛塚東小外柵工事五百三十八万円

▼小学校の学校建設工事請負費は、四億九千五百五万円でした。早通南小第二期工事工事二億八千二百六十万円、木崎小建築工事三億百八万円、豊栄南小校庭拡張工事一千二百四十一万円、木崎出張所建築工事一千百五十万円、真空式防火井戸設置二千五百万円、町浦川下水路ポンプ室ゲート築造工事一千三百六十五万円、町浦川防潮上げ工事四百八万円、町浦川下水路ポンプ設置工事二千百万円、早通白新線脇水路整備工事等四百十四万円、早通下水路工事六千四百二十五万円、町浦川下水路工事三千百十六万円、それに嘉山下水路工事九百七十万円が主なものです。

▼公園管理費は、南運動公園整備工事の四百九十万円など、総計で一千八百二十八万円でした。

▼公園建設費は三千八百三万円でした。見国山公園や下大口公園を整備した経費が主なものです。

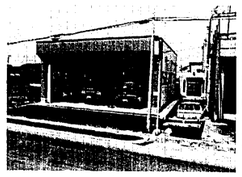
▼住宅管理費では県営住宅の屋上防水工事や樹木支柱、植栽工事などの工事請負費が一千五百六万円でした。

▼中学校の学校管理費は、一億三百五十三万円でした。このうち工事請負費は四千八百七十八万円で、主なものは、木崎中の補修工事、岡方中の緩雪補修工事、葛塚中のプレハブ校舎工事などがあげられます。

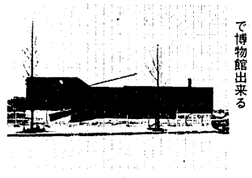
▼博物館建設費の工事請負費は、一億七千九百八十八万円でした。

●市有財産の状況●

○公有財産	
土地	489.498㎡
建物	89.924㎡
建造物（木造）	34.630㎡
建造物（非木造）	55.294㎡
○有価証券	
株券	150千円
社債	3.720千円
資本金・出資金	85.103千円
○基金	
国保事業運営基金	3.230千円
国保給付準備基金	136.443千円
国民年金印紙購入基金	300千円
国民年金積立金	8.870千円
災害用品備蓄基金	181千円
土地開発基金	60.597千円
土地開発基金	82.249千円
現金	96.317千円
調整基金	155.861千円
財政調整基金	227.401千円
退職手当基金	4.426千円
庁舎建設基金	500千円
社会教育振興基金	4.000千円
高齢者医療費貸付基金	


◀消防署の車庫が完成

◀消防署木崎出張所を改築


◀約一億七千万円の建設費で博物館出来る

荻　昌弘
上坂冬子さんを迎えて
矢島鈞次
来月の記念講演会

ことしは、市にとって、新町建設二十五周年、市制施行十周年に当たります。

これを記念して、多彩の行事や事業を計画していますが、その一つに記念講演会が開かれます。

この講演会は、第二十五回東北電力文化講演会です。

内容は、次のとおりです。

○期日　十月二十二日(水)、午後六時開演

○会場　中央公民館大講堂

○演題と講師

「国際情勢の変化・中国を中心にして」

経済評論家　矢島鈞次氏（東工大名誉教授）

「私の仕事、私の生きがい」

評論家　上坂冬子氏

○入場無料（整理券あり）

このほかに、新潟日報社主催による記念講演会が、十月十四日(火)に、中央公民館で開かれます。講師は、映画評論家の荻昌弘氏です。演題は未定です。

（詳細は、市政だよりに掲載）

豊栄町豊栄市誕生の日の出生者に〝記念品を〟

昭和三十年三月三十一日に町村合併により、豊栄町が誕生しました。

また、昭和四十五年十一月一日は、市制施行により、豊栄市が誕生した日です。

市では、この豊栄町と豊栄市が誕生した日に生まれた人に記念品を差しあげますのでご連絡ください。

連絡は、市企画広報課へ電話七―三四〇一